

〔4月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月6日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

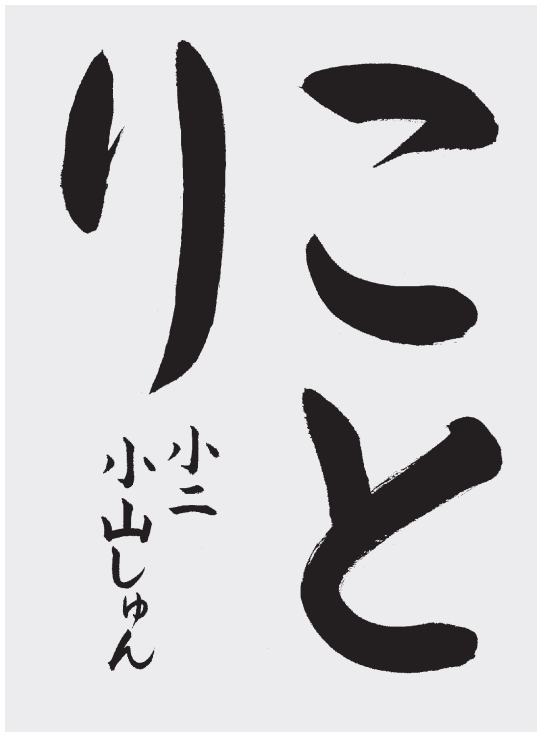


川村美泉先生

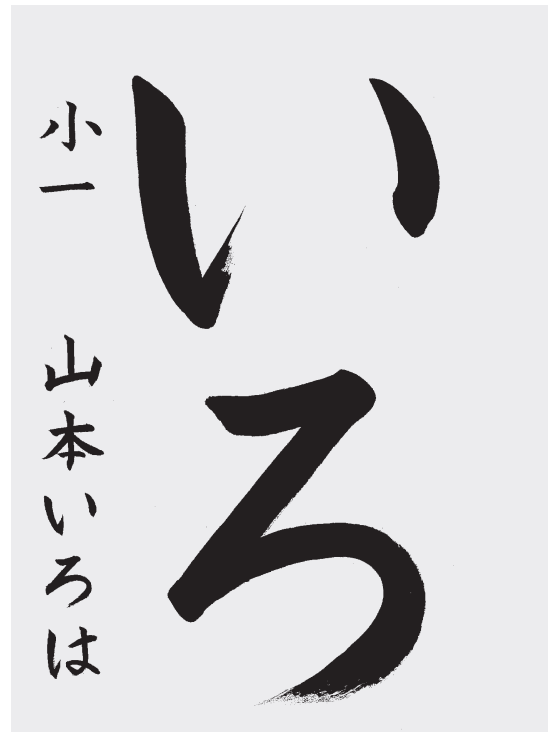
幼・小学1年参考手本



東福青篁先生



佐藤菜扇先生

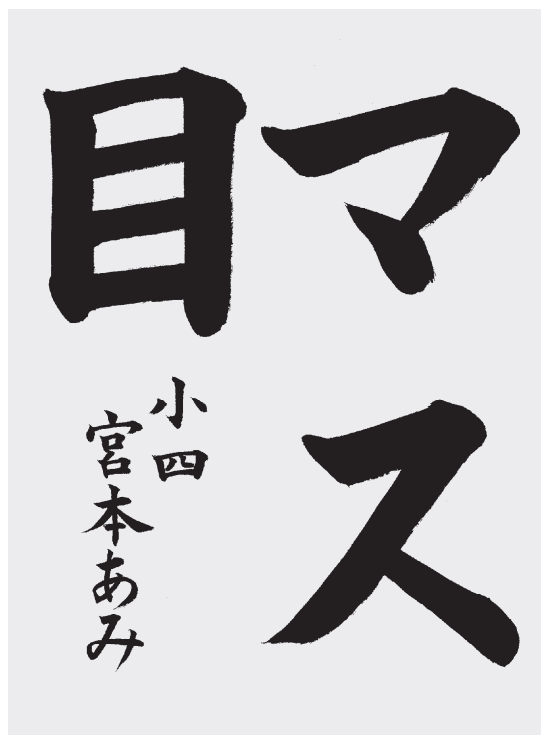


工藤永翠先生

〔4月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月6日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学4年参考手本



名越蒼竹先生

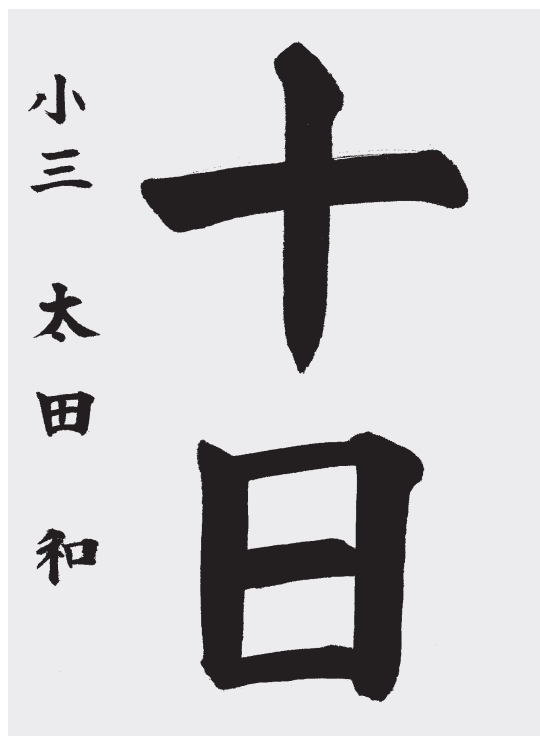


川島舟錦先生

小学3年参考手本



西川翠嵐先生



半田藤扇先生

〔4月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月6日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学6年参考手本



辻元大雲先生

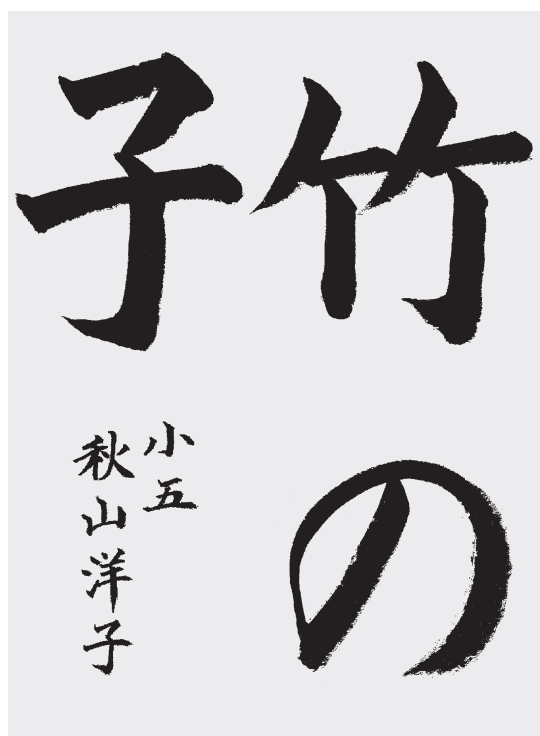


広瀬舟雲先生

小学5年参考手本



大平邑峰先生

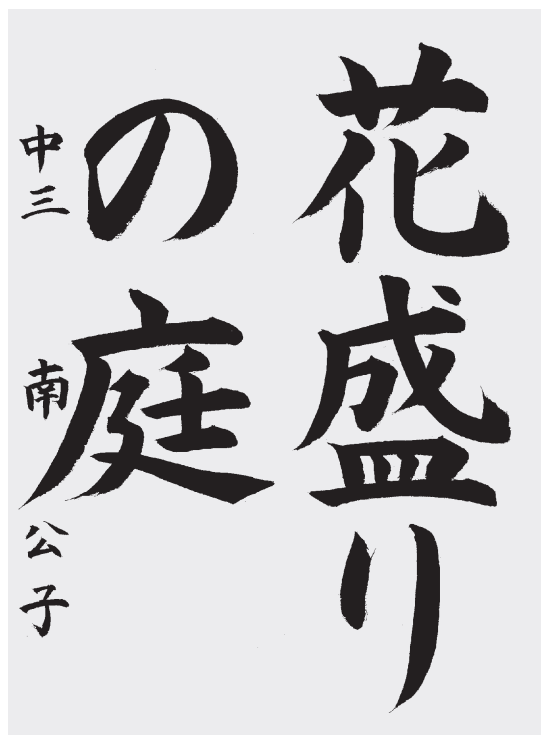


小林琴水先生

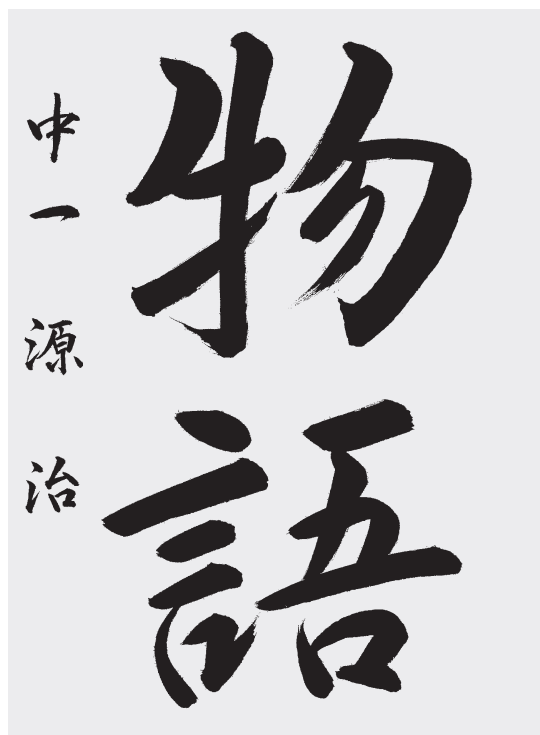
〔4月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月6日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

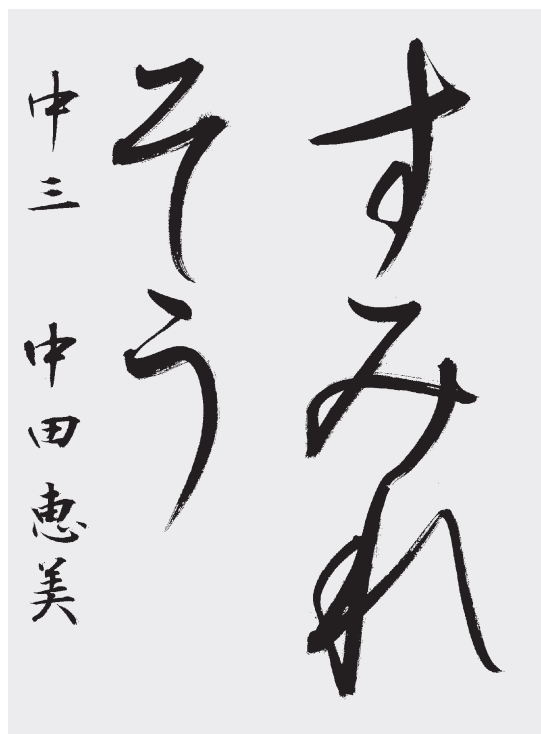
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



小竹石雲先生



種谷萬城先生



下谷洋子先生

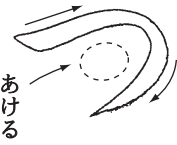


千葉蒼玄先生

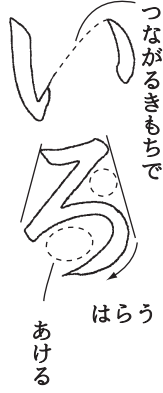
毛筆参考手本解説(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ヨ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

1年



川(じげん) 川(じげん)
つ(ヨ) つ(明) つ(教)

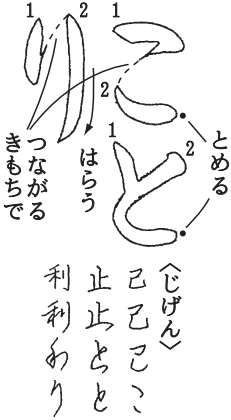


い(じげん) い(じげん) い(じげん)
いろ(ヨ) いろ(明) いろ(教)

2年

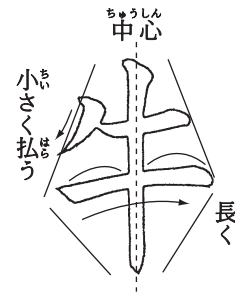


く(ヨ) く(明) く(明) く(教)

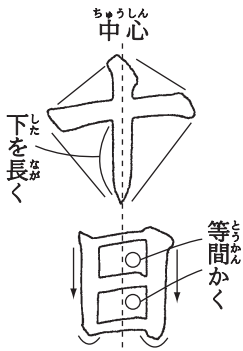


こと(ヨ) こと(明) こと(明)
こと(ヨ) こと(明) こと(明)

3年

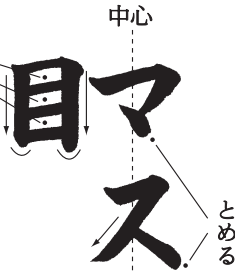


半(ヨ) 半(明) 半(明) 半(教)



十(ヨ) 十(明) 十(明) 十(教)

4年



目(ヨ) 目(明) 目(明) 目(教)



台(ヨ) 台(明) 台(明) 台(教)

5年



流(ヨ) 流(明) 流(明) 流(教)



子(ヨ) 子(明) 子(明) 子(教)

中学

— 5 —

〔4月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

★4月6日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

硬 筆 参 考 手 本

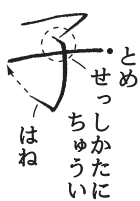
活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

支 部 名		を		竹	
		出		の	
		し		子	
段・級		た		が	
		。		五	
学 年				本	
	二			か	
名 前				お	
	八				
	木				
	小				
	花				

支 部 名		た		あ	
		い		か	
だん・きゅう		よ		る	
		う		い	
がくねん					
	一				
な ま え					
	ふ				
	く				
	だ				
	り				
	と				



出(ゴ) 出(明) 出(教)
 出(ゴ) 出(明) 出(教)
 出(ゴ) 出(明) 出(教)



子(ゴ) 子(明) 子(教)
 子(ゴ) 子(明) 子(教)
 子(ゴ) 子(明) 子(教)

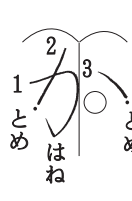


竹(ゴ) 竹(明) 竹(教)
 竹(ゴ) 竹(明) 竹(教)
 竹(ゴ) 竹(明) 竹(教)

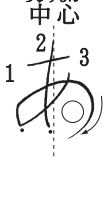
かん字の「とめ」「はね」を正しく書きま
 しょう。



あ(ゴ) あ(明) あ(教)
 あ(ゴ) あ(明) あ(教)
 あ(ゴ) あ(明) あ(教)



か(ゴ) か(明) か(教)
 か(ゴ) か(明) か(教)
 か(ゴ) か(明) か(教)



あ(ゴ) あ(明) あ(教)
 あ(ゴ) あ(明) あ(教)
 あ(ゴ) あ(明) あ(教)

「とめ」「はね」「はらい」にきをつけて
 かきましよう。

★4月6日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

小学 3 年

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
三									
名 前									
野口守									

漢字の形を正しく覚えて書きましよう

かんじ かな たち ただ とこの

角

たて かく
した で
出ない

筆順

ノ 角 角 角
角 角 角
角 角 角
角 角 角

角(教)

公

「はらい」
の長さ
「ム」のいち

まゆ ちう

筆順

ノ 公 公
ノ 公 公
公 公 公
公 公 公

公(教)

園

かく ちう
と ちう
い

筆順

口 門 園 園 園
園 園 園 園 園
園 園 園 園 園
園 園 園 園 園

園(教)

少し出す

★4月6日締切課題は、一学年上の手本を書いて出品して下さい。

中 学 生 (楷 書)

支部名	
段・級	
学 年	中一
名 前	早川 北斗

こうとする夢は異なる。

ように、私たちの胸から羽ばた

一つひとつの星の輝きが違う

行がゆがまないように気をつけて書きましょう。

横画は等間隔に
レは折れてから
右上に払う

順

業光輝

九画目は最大幅で上にそらす

二本の縦画は
横画を三等分する

筆順

田田田畀畀異

〔許容〕
 方向 止め
 方向 止め

1441

方向
方向

違(教) 違(明) 違(ゴ)

五 音 韋 韋 違

やさしい行書

(楷書)

私夢

(行書)

私益

禾（のぎへん）の変化

禾 → 牙

点画の省略

(くさかんむり) の変化

$\downarrow$
 $\downarrow$

点画の形の変化

これからの作品締切日と課題

令和7年5月号～9月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
活動クラブ	感激	効果	町の形	天体	うえ木	ほん	て	5月6日	5月
ふじなみ	純真な心	ポイント	連休	ふれあい	友人	さつき	こと		
明日を探る	地層	熱気	共同	育てる	花	つばさ	け	6月8日	6月
ふうりん	北斗七星	海開き	雨宿り	土地	ふる里	えのぐ	てつ		
砂浜を歩く	適切	健康	白い波	パンダ	人口	はいく	の	7月6日	7月
おみこし	宇宙遊泳	文化財	林間	七色	つり糸	さんご	あめ		
波打ち際	湖畔	道路	思いやり	寺院	青	こかげ	ろ	8月3日	8月
青蛙のおれもペンキぬりたてか	異口同音	大空の旅	海底	美しい	中心	ハム	にじ		
三筆	遣唐使	美術	列車	平行	月見	やさい	ま	9月7日	9月
くさの はな	無我夢中	くりの実	読む	虫のこえ	光る	おんぷ	ふえ		

5月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

が	り
い	す
ま	の
す	お
。	や
	こ

小 2

か	む
な	こ
な	う
夕	の
や	空
け	は
	ま
	っ

小 3

い	外
て	は
い	、
ま	強
す	い
。	風
	が
	ふ

小 4

を	手	心
温	紙	の
か	は	こ
く	、	も
し	相	っ
ま	手	た
す	の	お
。	気	礼
	持	の
	ち	

小 5

て	葉	運
か	が	動
が	、	場
や	太	の
い	陽	周
て	の	り
い	光	の
る	を	わ
。	浴	か
	び	

小 6

と	木	初
を	の	夏
万	緑	、
緑	に	辺
と	お	り
言	お	一
う	わ	面
。	れ	が
	た	草
	こ	

中学生

よく使われました。	「くさまくら」は旅、「ぬばた
	まの」は夜の枕詞です。和歌で

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第97回 石碑建立物語6

碑に適した大きな庵治石が見つかったと、周囲に歯のついた丸い大きな円盤状の切断機で切って大まかな碑形にする。ここで石本体に亀裂や筋のような線状の色の異なる部分が見つからなければ加工を進めていくわけだ。やわらかい石材なら巨石でもそのリスクが少ないというが、庵治石は、その逆で日本一硬い石なので、大きなサイズの石碑に適した良材を得るのが難しいとのことであった。産地で良材の掘削に力を注いでくださっているの、私の方でも刻すための書原稿制作に取り掛からずにはいられなかった。今で言う限りの書にしないかと末代まで恥ずかしい結果を招くので、渾身の力を込めて制作に取り組んだ。令和五年七月、石碑表面の書原稿「武蔵野女子学院発祥の地」、八月から九月にかけて裏面に刻するためのこれまでの歴史が記された細字の書の揮毫に勤しんだ。この年は夏休み返上で、毎日のように大学書道教室に通い揮毫した。石碑表面の実物の形・サイズに切った模造紙に、書原稿を書き上げるとその上に置いてみた。ある程度よいものが書けると、この模造紙に貼って、さらに黒板にはり、遠くから眺めて文字と配字のバランス・大きさなどさらに良くするための方策を練った。「武蔵野」と「女子」という漢字のバランスが特に難しく、合うように何回も書き直した。しかし「発祥の地」は、比較的楽に書けた。最後まで難しかったのが、「2024」であった。数字は毛筆であまり書いたことがなかったのだ、ここのみ活字にしようと思っただが、プロジェクト副主任に「ここのみ活字にするのではなく全部揮毫してください。」といわれ、様々な形に書いてはほかの箇所と調和がとれているか貼ってみてようやくこの書に落ち着いたので

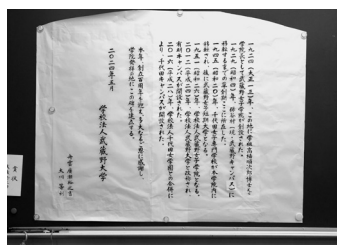
あった。

約四十年前、筑波大附属駒場中・高に書道の教員として赴任してすぐに、副校長先生から同校に「水田の碑」を建立したいので、学芸大の小木太法先生に題字の書をお願いしてほしいと依頼された。小木先生は筑駒2代目の書道教員であった。ちなみに初代は芸術院にも関係の深い大澤竹胎先生であった。この時に小木先生の研究室で石碑揮毫についての小木流秘伝を教えていただいた。この中で最も印象深いのが、石に刻す書稿は、にじんだり、かすれていない方がよい。トレーシングペーパーを用いて揮毫するのが最適ということである。これ以後、お墓の題字などを依頼されると、私はこれを受け継いでいる。裏側は、字数が多いので何回も書き直してみたが、非常に骨が折れる仕事であった。トレーシングペーパーは、枠線や中心線を引いた下敷きを作って、その上のにせて書いても透けてよく見えるし、にじまないのも私とても良い方法を教わったと思い実践している。私の書稿は線の輪郭が明確で刻しやすいくのでとても良いと大川会長にほめられた。

(つづく)



▲百周年記念碑表面の書稿



▲同・裏面の書稿

今月のホープ



中三 松本実優 (津田)

書の古典を想起させるしっかりとした、しなやかな書風が清新です。細身ながら深く味わいのある線に惹かれました。



小五 長樂芽琉 (東葉)

始筆終筆をしっかり止める基本の筆づかいができています。力強い縦画も美しいスマートな作品に仕上げました。

文部名	く	に	
矢巾	だ	伝	先
段・級	さ	わ	生
	い	る	が
学年	ま	宝	放
六	し	物	課
氏名	た	を	後
佐藤希美	。	見	に
		せ	故
		て	郷

小六 佐藤希美 (矢巾)

真面目な取り組みで、一点一画が、自然でやさしく、引き締まった線になりました。日頃の練習の成果が出ています。

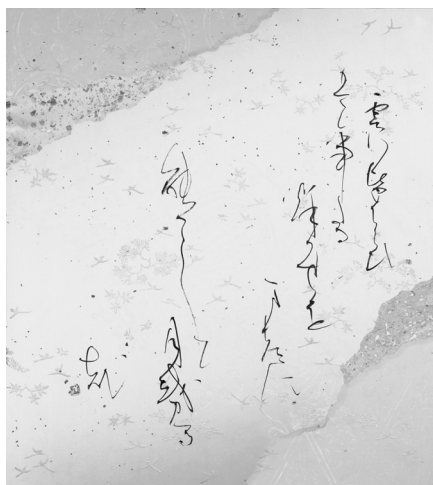
文部名	ん	
和賀	車	公
段・級	が	園
準初	あ	に
学年	り	大
二	ま	き
名前	し	な
野口温人	た	き
	。	か

小二 野口温人 (和賀書道教室)

一字一字丁寧に伸び伸びとした作品です。字形と線にも心配りがありすっきりとして大らかな気持ちになります。

第76回全国学生書道展

「学生展指導者作品展」役員作品



「雲は皆 (新古今)」
運営委員長 下谷 洋子



「世外」 顧問・名誉会員 辻 元 大 雲



「太陽」
実行委員長 小竹 石 雲



「柳緑花紅」
実行副委員長 千 葉 蒼 玄



「平澹」
実行副委員長 後 藤 大 峰

書道芸術学生版 春季昇段級試験規定

・毛筆
・硬筆

一、しめきり日 5月6日(火)

一、発表 5月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生 とも (かいしよ)

〃 二年生 まり (かいしよ)

〃 三年生 上下 (かいしよ)

〃 四年生 大石 (かいしよ)

〃 五年生 努力 (かいしよ)

〃 六年生 歴史 (かいしよ)

中学校一年生 快走 (楷書か行書)

〃 二年生 登校 (楷書か行書)

〃 三年生 創造 (楷書か行書)

一、受験料 各部一点 六〇〇円

毛筆
硬筆 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書 (かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人

が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学

年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ		
神田 書道 太郎		
		
①	1013021200013	1 級
昇試 (5月6日締切)		
①	毛 筆	
神田		小 1
書道 太郎		
1 級		
		
1013021200013		

○応募書類は4月下旬に6月号といっ

しよに、受験番号を記入した応募書

類と「昇段級試験用」バーコード出

品券を送付します。

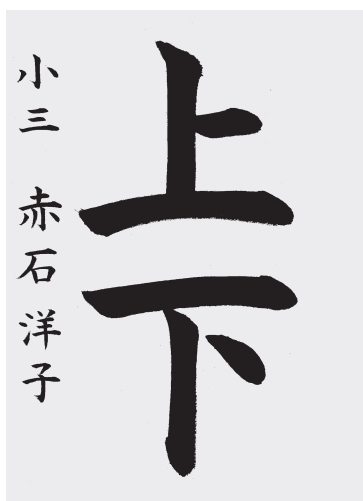
○毛筆・硬筆とも左図のように記入して出品する。

作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

一年	し	ょ	ど	う	と	も	た	ら	う
○○○○									
↑									
例 1001									
団体番号									

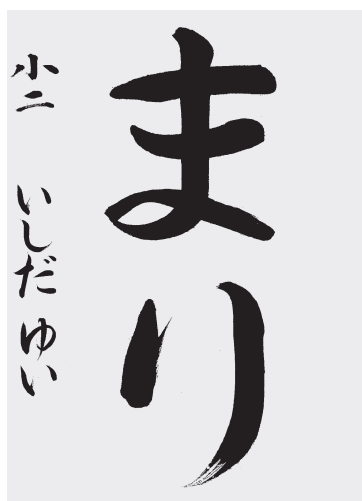
※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



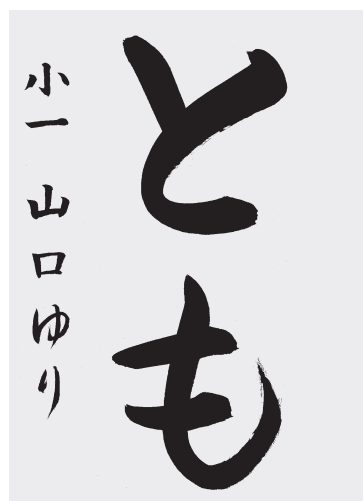
大平 邑峰 先生

小学 2 年



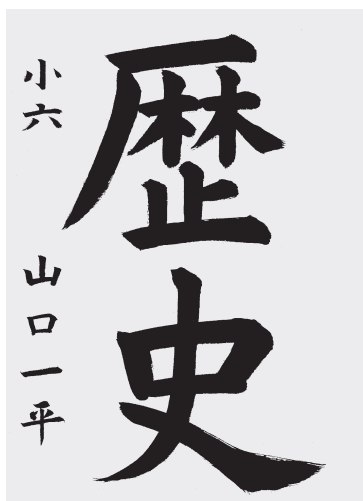
川島 舟錦 先生

幼・小学 1 年



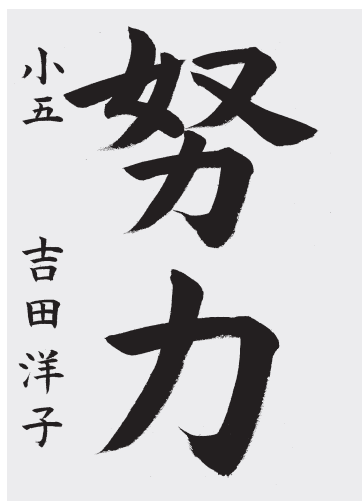
広瀬 舟雲 先生

小学 6 年



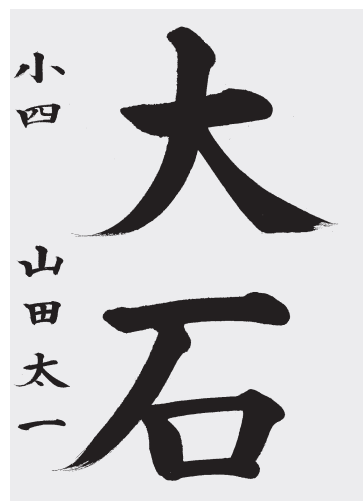
広瀬 舟雲 先生

小学 5 年



大平 邑峰 先生

小学 4 年



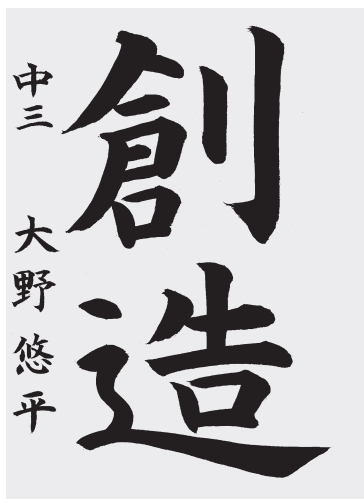
川島 舟錦 先生

中学 3 年

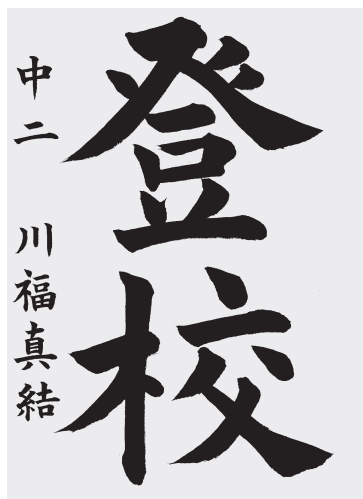
中学 2 年

中学 1 年

楷
書



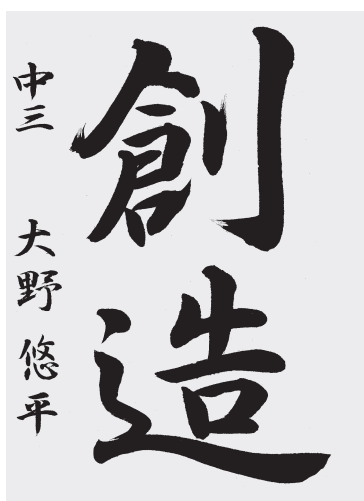
小 竹 石 雲 先生



名 越 蒼 竹 先生



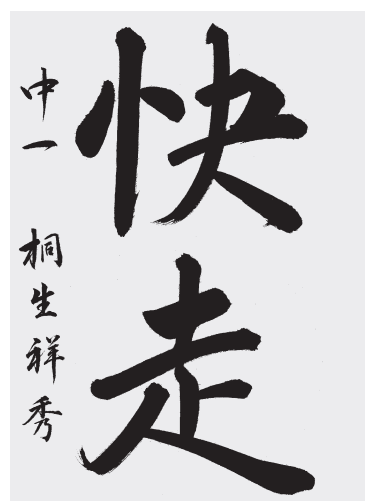
種 谷 萬 城 先生



小 竹 石 雲 先生



名 越 蒼 竹 先生



種 谷 萬 城 先生

行
書

硬筆の部

一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。

一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。

一、「空欄」。「」。「」も正しく書く。

一、課題

幼・小学 1 年

支部名			
段・級			
学 年			
名 前			
	く	あ	
	も	お	
	の	い	
	う	そ	
	え	ら	

小 学 2 年

支部名			
段・級			
学 年			
名 前			
	ろ	川	
	い	で	
	ま		
	し	貝	
	た	が	
	。	ら	
		を	
		ひ	

小 学 3 年

支部名			
段・級			
学 年			
名 前			
	を	友	
	し	だ	
	ま	ち	
	し	と	
	ょ	会	
	う	っ	
	。	て	
		話	

小 学 4 年

支部名			
段・級			
学 年			
名 前			
	る	夜	
	の	明	
	を	け	
	見	の	
	ま	空	
	し	に	
	た	光	
	。	っ	
		て	
		ち	

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。

一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。

支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。

一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

※5月号の購読部数を越える受験はできません。

支部名	
段・級	
学 年	中三
名 前	田辺愛依

明朝体は、新聞・雑誌・本でよく見かける活字体で、読まれることを目的として作られた。

支部名	
段・級	
学 年	六
名 前	中谷芽生

自然災害から町の安全を守るための方法を考える。

支部名	
段・級	
学 年	五
名 前	山本春馬

かえる問題について学びました。

春季昇段級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙（月例と同じ用紙）を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品してください。

ご注文は、専用の払込取扱票にて前納でお申込みください。

払込取扱票をお持ちでない方は事務所へご連絡ください。

支部名	
段・級	
学 年	中三
名 前	田辺愛依

明朝体は、新聞・雑誌・本でよく見かける活字体で、読まれることを目的として作られた。

春季昇段級試験

硬筆の部

を受験される方へ

◎硬筆用紙は、学年別に 4 種類あります。

- ① 幼・1年生用 ③ 4・5・6年生用
② 2・3年生用 ④ 中 学 生 用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙 9 冊以下（1 冊100円+送料）					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	280 円	4	610 円	7	1,130 円
2	410	5	710	8	1,230
3	510	6	810	9	1,330
硬筆用紙 10 冊以上のご注文は、1.5割引					
10～21		冊数×85円+430円			
硬筆用紙22冊以上のご注文は、1.5割引、送料無料					

※10冊から21冊までは、1.5割引き+送料に変更させていただきます。

※22冊以上は、1.5割引き 送料無料になります。

5月号毛筆参考手本（予告） 5月6日締め切り分

幼・1年

て
いわいちはや

こと
小一 えがわたろう

2年

ほん
小二 かわだゆい

きさつ
小二 田中のぐみ

3年

うえ
木
小三 中山友来

友人
小三 上田夕子

4年

天体
小四 田上知子

あふれ
小四 町田洋

5年

町の形
小五 角井万知

連休
小五 千葉陽子

6年

効果
小六 上田洋子

ンポ
トイ
小六 田中結子

中学

感激
中一 山口佳

純真
な心
中二 和田誠

クラブ
活動
中三 片岡充

なふじ
なみ
中三 山本みえ子

編集余録

○今月号（4月号）から新しい学年の課題になります。間違えないように注意してください。

○第76回全国学生書道展が開催されました。今回展も大変多くの方にご参観いただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。今月号に大賞、準大賞の受賞作品を掲載しましたのでどうぞご覧ください。

○春季昇段級試験の出品規定と毛筆・硬筆の参考手本を掲載しました。是非参考にしてください。

○今月号の39ページに「硬筆の持ち方」を載せました。皆さん正しい鉛筆の持ち方で書いていますか。鉛筆を正しく持つと色々なメリットがあります。まず、鉛筆をしっかりコントロールできるように、文字のトメ、ハネ、ハライがきちんとできるようにになります。

また、正しく持つことで、姿勢も良くなり、手指や肩などに過度な力みがなくなるので、長時間書き続けても疲れにくくなります。さらに、鉛筆を動かしやすいになるので、流れよく、スムーズに文字を書けるようになります。

鉛筆の持ち方はお箸の持ち方と同様に、変な癖がついてしまうと、なかなか直りにくいものです。正しい持ち方をマスターして書いてください。

（悠輝）